

TECHNICAL DATA

K I K U S U I

仕上りの種類	ポリマーセメント系基礎巾木用塗材
商 品 名	基礎ガード (スチップル状模様)

下地調整材で素地調整する場合

第3版 作成日：2012年03月27日

菊水化学工業株式会社

標準施工仕様書

● 仕上げの種類：ポリマーセメント系基礎巾木用塗材

● 商品名：基礎ガード

● 部位：基礎巾木

● 仕上がり形状：スチップル状模様

● 工程

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (20℃)	所要量
前準備 (必要に応じ)	基礎巾木周りの地面を掘り下げて、基礎立上り面を全て露出させ、付着した土を完全に取り除き、乾燥した清潔な面とする。				
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物を、ワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。 セメント系下地調整塗材（BR#30など）を用い、素地の巣穴・段差に注意しながら、全面をしごき塗りし、フラットな面として下さい。				
下塗り	基礎ガード 粉体：16kg 混和液：12kg 清水：0.80～1.20ℓ	ウールローラー 刷毛 など	1	1以上	56～93m ² /28kg 0.3～0.5kg/m ²
主材塗り	基礎ガード 粉体：16kg 混和液：12kg 清水：0.80～1.20ℓ	多孔質ローラー	1		28～40m ² /28kg 0.7～1.0kg/m ²

(注) 上記の各数値は、全て標準のものである。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

● 素地調整

(1) 素地の乾燥は、十分行って下さい。(含水率10%以下)

● 下地調整

(1) セメント系下地調整塗材（JSプレミックス30など）を用い、素地の巣穴・段差に注意しながら、全面をしごき塗りし、フラットな面として下さい。

● 工 法

1. 材料の混ぜ合わせ

(2) 主材は、混和液に粉体を徐々に加えまます粉ができないように十分硬練りを行った後、指定量の清水で粘度調整して下さい。

<注意事項>

イ. 練り容器の内壁もしくは底部に粉体が残ると、まます粉の原因となるので、へら等で内壁に付いた粉体を掻き落とし、再度ミキサーで攪拌して下さい。

ロ. まます粉が生じた場合は、こし網等で除いてから使用して下さい。

ハ. 可使時間は、60分(20℃の場合)なので、それまでに使い切して下さい。

ニ. 別途混合容器を用意して、一度に使い切れる量を計量して混合して下さい。

	1 4 k g	1 0 . 5 k g	7 k g
材料・調合	粉 体： 8kg 混和液： 6kg 清 水： 0.40～0.60%	粉 体： 6.0kg 混和液： 4.5kg 清 水： 0.30～0.45%	粉 体： 4kg 混和液： 3kg 清 水： 0.20～0.30%

2. 下塗り

(1) ウールローラー、刷毛などを使用し、厚みが均一になるように塗布して下さい。

3. 主材塗り

(1) 工法は多孔質ローラー塗りとし、塗継ぎむらのないように注意しながら塗布して下さい。

● 気象条件

(1) 施工場所の気温が5℃以下の場合は、施工を避けて下さい。

(2) 外部の施工で降雨、降雪の場合又はそのおそれがある場合及び強風時は施工を避けて下さい。

● 材料の保管

(1) 主材の粉体は、湿気や水掛かりに注意して保管して下さい。

(2) その他の材料は、直射日光下及び0℃以下での保管を避けて下さい。

●その他の注意事項

(1) 施工器具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壌にしみ込まないようにして下さい。

(2) 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。

磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスキングを行って下さい。

(3) 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はMSDS（製品安全データシート）を参照して下さい。

(4) 施工方法により若干の色相差を生じることがあります。

(5) 施工直後の降雨・結露等により塗膜のふくれ、剥離、白化等の不具合を生じる場合があります。

降雨や結露が予想される場合は施工を避けて下さい。

- (6) 所定の塗付量に達しない場合や超えてしまう場合には、種々の欠陥を生じる場合があります。
所定の塗付量を守って施工して下さい。

※本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照するようにして下さい。

組 成 表

仕上げの種類 ポリマーセメント系基礎巾木用塗材

商 品 名 基礎ガード

荷 姿 主 材：基礎ガード

〔粉 体〕 NET 16kg/袋入

〔混和液〕 NET 12kg/缶入

組 成

● 主 材：基礎ガード

《粉 体》

内 容	重 量 (%)
無機質結合材	33
骨材	66
添加剤	1
計	100

《混和液》

内 容	重 量 (%)
合成樹脂エマルジョン	83
白色顔料	8
水	5
添加剤	4
着色顔料	適宜
計	100

性 能 試 験 成 績 書

仕上げの種類	ポリマーセメント系基礎巾木用塗材	
商品名	基礎ガード	
供試材料	主 材：基礎ガード	
試験方法	JIS A 6909-2006に準拠	
項 目	規 定	結 果
低温安定性	塊がなく組成物の分離・凝集がないこと	合 格
軟度変化 B法	-15~15 %	-3.4
初期乾燥による ひび割れ抵抗性	ひび割れがないこと	合 格
付 着 強 さ	標準状態	0.5 N/mm ² 以上
	浸水後	0.5 N/mm ² 以上
温冷繰返し	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、 著しい変色及び光沢低下がないこと	合 格
透水性 B法	0.5 ml以下	0.3
耐衝撃性	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと	合 格
耐候性 A法	ひび割れ及びはがれがなく、変色がグレースケール3号以上 であること	合 格
可とう性	ひび割れが生じないこと	合 格
伸 び	20℃時	120 %以上
	-10℃時	20 %以上
	浸水後	100 %以上
	加熱後	100 %以上
伸び時の劣化	はく離、反り及びねじれがなく、主材に破断及びひび割れが ないこと	合 格
-以下余白-		

* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。